



キク編

病害虫注意報 2024年5月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病にご注意ください！

早ければ5月末頃より梅雨入りすることもあり、雨が増えると白さび病の発生リスクは高くなります。湿度の高い環境や植物が濡れるような状態はできる限り少なくするように管理しましょう。



症状

- 葉裏に白い隆起した斑点が発生する、など

多発条件

- 多湿（湿度90%以上）や水滴の付着。
- 梅雨時期と9～10月頃の冷涼（15～20℃）な時期。

対策

- 暖房機などを稼働させてハウス内を除湿する。
- 循環扇を用いてハウス内の温度・湿度ムラは減らす。
- 土壌の排水性は良好にする。
- 発病株は伝染源になるため抜き取りや焼却、もしくは土中深くに埋める。

今月のおすすめローテーション



品種、栽培条件、混用する農薬・資材によって薬害が発生する可能性があります。ご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
	23	アザミワ類 アブラムシ類・ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病	予・治 アミスター20フロアブル	2,000倍	発病初期	5回
	33	ハダニ類	ダニオーテフロアブル※	2,000倍	発生初期	2回
発蕾時	39	白さび病 アブラムシ類	予 ピリカット乳剤	1,000倍	発生・発病初期	6回
	15	アザミワ類 マメハゲリバエ	マッチ乳剤	1,000倍	発生初期	5回
破蕾時	7	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
	6	アザミワ類 ハダニ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回

※花き類・観葉植物登録

海藻サンバ

1,000倍：挿し穂浸漬処理、または葉面散布

- ▶ コリンによる
光合成促進と発根促進
- ▶ 海藻エキスによる発根促進
- ▶ 転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

葉焼け軽減に！

プロテックa

500～1,000倍

葉面散布

カルシウム、パラフィン配合
植物表皮を保護強化

